

6年

国語

漢字を正しく使う

6年

組

名前

①①～⑤の□に当てはまる漢字を書きましょう。

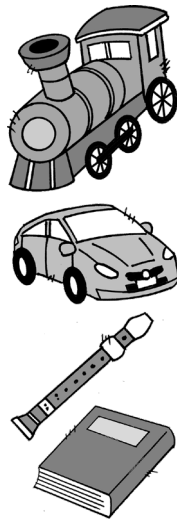
① 鉄道博物館は楽しかった。

② 小学生向けの救命講習を受ける。

③ 自動車の輸出台量が増える。

④ 演奏が上達する。

⑤ 本を最初から読む。



線の数、点のあるなし、つき出すかなどに注意してね。

かりん

②①～⑦の()に当てはまる言葉から選んで書きましょう。

① ぼくの家は小高い山の(てっぺん)にある。

② 三時間歩いて、やっと家に(たどり)着いた。

③ 小さな動物たちは、木々の間に(ひっそり)とかくれていた。

④ 父は鼻を(くっつける)ようにして本を読む。

⑤ じっと座っているのは(がまん)できない。

⑥ うちには(めったに)お客さんは来ない。

⑦ 女の人(は)きっぱりと首を横にふった。

くっつける・めったに
てっぺん・きっぱり
がまん・ひっそり・たどり

言葉は
それぞれ
一度しか
使えないよ。



③ 送り仮名に気をつけて、①～⑧の――線の言葉を漢字で()に書きましょう。

① 国語辞典で意味をたしかめる。(確かめる) ⑤ おさない妹の世話をする。(幼い)

② 事故の原因をあきらかにする。(明らか) ⑥ あぶないことはしない。(危ない)

③ 食品をガラスの容器にうつす。(移す) ⑦ 祖父母をつやまう。(敬う)

④ 観衆の目がさめるようなプレーだ。(覚める) ⑧ 法によってさばかれる。(裁かれる)